

令和7年度 学校評価 保護者アンケート結果のお知らせ

回答率70.7%(回答数390名分)

令和8年1月

()内は昨年度の割合

No	項目	説明	そう思う+	あまり	そう思う	少し	あまり	思わない
			少し 思う	思わない+	よく	時々	思わない たまに	全然
No1	うつくしい子ども	お子さんは、相手の良さに目を向け、思いやりをもって生活をしようと考えています。	96% (95%)	4% (5%)	51% (54%)	45% (41%)	3% (5%)	1% (0%)
No2	うつくしい子ども	学校は子供同士のかかわりを大切に、自分たちのくらしをつくる子供を育てようと努めています。	97% (94%)	3% (6%)	58% (61%)	39% (33%)	3% (5%)	1% (1%)
No3	たくましい子ども	お子さんは、自分で考えて行動し、前向きに生活をしようと考えています。	91% (91%)	9% (9%)	41% (48%)	50% (43%)	8% (9%)	1% (0%)
No4	たくましい子ども	学校は、命を大切に、健康で安全な生活ができる子どもを育てようと努めています。	96% (95%)	4% (5%)	61% (63%)	35% (32%)	3% (4%)	1% (1%)
No5	かしこい子ども	お子さんは進んで学習に取り組み、自分の力を伸ばそうとしています。	75% (77%)	25% (23%)	34% (33%)	41% (44%)	22% (19%)	3% (4%)
No6	かしこい子ども	学校は、毎日の授業に力を入れて、子どもの学ぶ力を伸ばそうと努めています。	95% (93%)	5% (7%)	53% (57%)	43% (36%)	4% (6%)	1% (1%)
No7	いじめ防止	学校は、保護者や地域と協力連携しながら、いじめ防止の取組みを進めようとしています。	89% (90%)	11% (10%)	47% (52%)	42% (38%)	10% (9%)	1% (1%)
No8	その他	学校だよりや学年だより等の各種通信、ホームページなどを通して、学校の様子がわかる。	89% (91%)	11% (9%)	45% (50%)	44% (41%)	10% (9%)	1% (0%)
No9	家庭での様子	お子さんは、学校生活のことをよく話しますか。	84% (82%)	16% (18%)	49% (51%)	34% (31%)	14% (14%)	3% (4%)
No10	家庭での様子	お子さんは、家庭や地域で進んであいさつをしていますか。	69% (73%)	31% (27%)	25% (29%)	45% (44%)	27% (22%)	3% (5%)
No11	家庭での様子	お子さんは、早寝・早起きやゲームの時間を守るなど、規則正しい生活リズムを意識しながら生活していますか。	63% (59%)	37% (41%)	22% (22%)	41% (37%)	28% (31%)	9% (10%)
No12	家庭での様子	本校のホームページを見ていますか。	25% (25%)	75% (75%)	4% (4%)	21% (21%)	45% (44%)	30% (31%)

- No1「思いやりをもって生活をしよう」2「自分たちのくらしをつくる子供を育てよう」の項目は、肯定的評価が昨年度と比べてもさらに高評価となりました。校是である「うつくしい子ども」の育成に努める学校の対応を評価していただいたと思います。生活科や総合的な学習の時間で、積極的に地域の人々と関わったり、幼保連携やたてわり班活動、児童会活動などで異学年交流を行ってききましたが、来年度も工夫をして様々な交流活動を行っていきます。
- No4「命を大切に、健康で安全な生活ができる子どもを育てよう」の項目は、昨年度とほぼ同じ結果で、肯定的に見ている保護者の皆様は96%となっています。「みんなが生き生きと学ぶ学校」経営にとって「命・健康・安全」は、大切な土台となります。今後も「南部の日」にいのちを見つめる指導、個人登校への安全指導を継続し、安全で安心に学校生活が送れる学校経営に努めてまいります。
- No11「規則正しい生活リズム」の項目は、これまでも課題(昨年59%)となっていました。本年度は肯定的評価が4%増の63%となりました。一方で、否定的な評価も37%いて、メディアとの付き合い方には、まだまだ課題が見られます。今後もPTAと連携しながら、「早ね、早おき、朝ごはん」「メディアコントロール」をキーワードにした生活リズム確立に向けての取組みに努めていきます。
- ・ No10「家庭や地域に進んであいさつ」の項目は、肯定的評価の割合が昨年度と比べて4%減の69%となりました。あいさつ委員会などが中心に活動など普段からあいさつをがんばっている子供たちが増えているものの、他の項目と比べると低めの評価になっています。一方、子供たちのアンケートの結果では、91%の子供たちが「自分はあいさつをしている」と思っていて、実際、交通指導員の方からもあいさつがよくなっているとの声をいただきました。しかし、保護者の皆様の意識とずれがあります。あいさつをしているつもりでも伝わっていないということになるので、「相手に伝わるあいさつ」へ高めていきたいと考えています。
- ▲ No3「自分で考えて行動し、前向きに生活をしよう」の肯定的評価は91%と高評価でしたが、積極的評価(そう思う)は、7%減少の41%という結果でした。No6「進んで学習に取り組む」の項目は、昨年度と比べて肯定的な評価がそれぞれ6%、2%低くなっています。子供たちの学ぼうとする意欲や家庭学習に取り組む姿勢に不満を感じている保護者が多くいらっしゃいます。子供たちが自分で家庭学習を工夫できるように、学年に応じて家庭学習の内容・時間等を指導するとともに、子供たち一人一人が「できる・わかる」と達成感を味わうことができる授業づくり、そして意欲的に学習に取り組んでいけるような単元構成や教材の工夫をするために、私たち教員がさらに研修を深めていきます。

▲ No1「思いやりをもって生活」、No2「かかわりを大切にしてくらしをつくる」、No3「自分で考えて行動」の項目は、昨年度と比べて肯定的な評価は大きく変わらないものの、「そう思う(積極的高評価)」の割合がそれぞれ7%、5%、5%大きく下がっています。今年度は生活科や総合的な学習で、積極的に学区内の施設(商店・幼稚園・老人ホームなど)の人々と関わったり、たてわり班活動や児童会活動などで異学年交流を行ったりしてきましたが、来年度は更なる工夫をして様々な交流活動を行っていきます。

▲

▲ 13項目の評価結果全体を見ると、肯定的評価が75%を下回っているのは、No10「進んであいさつ」、No11「規則正しい生活リズム」、No12「工夫した家庭学習」、No13「ホームページ閲覧」の4項目でした。以上4点を本校の課題と捉え、改善に向けて来年度の教育課程を工夫していきます。